



# 人定便り

令和2年度卒業号  
発行日 令和3年3月2日  
熊本県立人吉高等学校 定時制課程

## 令和2年度 第72回 卒業式 おめでとう！

卒業生へ お世話になった先生方からのメッセージ！！



### 「人生の難題～そのときこそアート力」

光永 幸生 校長先生

卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。また保護者の皆様におかれましては喜びも一入と存じます。今後の更なる飛躍をお祈り申し上げます。

さて、今年度は新型コロナや熊本豪雨水害等、これまでに経験したことがない難題と向き合わざるを得ませんでした。この難題への取り組みは当分の間続くことになりそうです。また、このような難題は皆さんの人生の中では何度も出会うことでしょうか。それでは、その解決のためにはどんな力が必要でしょうか？

本校では、人高生が付ける3つの力として「知識・技能・体験力」「論理的思考力」「アート力」を掲げています。難題への取り組みには前の二つの力が必要であることすぐに理解できるでしょう。では「アート力」はどうでしょうか？

日本ではよく「文系人間」とか「理系人間」とか分類することがあります。それぞれの強みを極めることは大事なことです。では、果たして強みであることさえやっていけばいいのでしょうか？また、それだけで難題を解決していけるのでしょうか？

「Art」とは「芸術」を意味する以外に、「教養」という意味もあります。皆さんには、例えばそれが専門外であっても、一通り理解する、せめて話についていくだけの「教養」が必要です。それこそが難題に立ち向かうための、専門で行き詰まったときの大きな力となるはず。また、このような「教養」を身につける一番の方法は「授業の理解」です。それこそが「アート力」となるわけです。

卒業する皆さんは、これから社会の荒波にもまれ、辛く厳しいことも多々あるでしょう。「人定」での「授業」と「仲間」との出会い、そして数多の体験を糧に、どのような難題にも立ち向かい、その力を発揮して欲しいと思います。



### 「卒業によせて」

平江 良樹 副校長先生

いつもこの時期になると考える。

自分が高校の教師になったからかもしれないが、卒業証書を授与されることの意味を考える。小学校、中学校とそれぞれ授与されてきたが、高校生だった時に、どんな気持ちだったかをいつも振り返る。普通に授業を、苦しみながら定期考査を受けて、時々行事があつてそれなりに盛り上がり過ぎて過ごし、その繰り返しで最後に卒業する、それが普通だろうと思っていたが・・・

自分の卒業式当日は、大学入試の直前で、不安な気持ちの直中。その日は薄曇りの天気、時折晴れ間があつたような気がする。何故か式中のことは全く記憶が無い。式後のHRで担任の先生から名簿順に証書を授与された時、「ありがとうございました」と言って握手をしたようなおぼろげな記憶がある。ただ、その後の順番の級友が「合格してからします」と言って、笑いながら握手を拒否したことは覚えている。担任の先生が「こいつらしいや」という顔をしながら苦笑され、私も同感で笑った記憶がある。帰宅後の夕食時に母が「あれはちょっと違うと思う」と言ったので、「何か思うところがあつたんじゃないの？」みたいな返しをしたような記憶もある。おそらくその級友にとって、当時は「卒業」と「大学合格」はイコールだったのかなとも思う。

時が経って自分が高校の教師となり、担任した生徒たちに初めて卒業証書を「授与する」時に、改めて「重い」と感じた記憶がある。やっぱり高校生活は濃密で重く思う。日々のHR、授業（課外含む）、部活動の練習、加えて時折の行事、試合や発表の大会等々、過ごした日々で学んだこと、感じたこと、培った経験は本当に重い。大学等上級学校への入試や就職試験への「合格」だけが、高校生活の全てではないことを、自分が高校教師となって明確に意識することになったのである。

何はともあれ、その級友本人が当時どういう心境だったのか、確認していないので不明である。本人が覚えていない可能性もあるが、機会があつたら聞いてみようと思うコロナ禍のこの頃である。

卒業おめでとうございます。皆さんの今後のますますの活躍を祈ります。



### 『贈る言葉』 橋本 岳範 教頭先生

「対価や物品、飲食、これらは一切いただきません。決して「してやる」ではなく、「させていただく」の気持ちで私は臨んでいます。かけた情けは水に流せ、受けた恩は石に刻め。」

令和2年10月、君たちと人定 MyRevo プロジェクトの一環で人吉旅館の復旧ボランティアをしていた時に、この言葉を思い浮かべながら作業をしていました。これは、赤鉢巻のボランティア尾島春夫さんの言葉です。私が尊敬してやまない憧れの方ですが、私にはとても真似できる生き方ではありません。でも、自分が奢りそうになった時は、いつも尾島さんのことを思い出して自分を戒めています。数年前、私は仕事がつらく苦しく、挫けそうになることが長く続いた時がありました。そういう時、切り取って手帳に貼っていた尾島さんの新聞記事や顔写真を、乗り越えてきました。私は、尾島さんの言葉を胸に刻んで教育に携わっています。

卒業する君たちはともに医療系に進みます。コロナ禍で過酷極まる仕事ですが、たくさんの人たちから感謝される大事な仕事です。だからこそ尾島さんの言葉を紹介しようと思いました。巣立つ君たちには心の片隅に置いておいてほしい言葉です。

2人の未来に幸あれ。



### 『次なる成長へ』

野内 昭孝 事務長先生

この度人吉高校定時制課程を卒業される2名におかれましては、御卒業おめでとうございます。また、卒業生保護者の皆様や御家族の皆様におかれましては、在学中本校教育活動に深い御理解と御協力をいただき、厚く御礼申し上げます。

さて、急速に世の中の情報化が進んでいますが、皆さんが社会人として中核となり仕事をしている頃には半分近くの仕事がAIに奪われている時代が来ると言われています。私たちを取り巻く環境は、日々着実に変化しています。このような環境の変化に柔軟に対応し、次々と生まれる新しい価値観を巧く受け入れ、いかに自分の成長の糧とできるかが問われています。

皆さんは、そうした時代を生き抜く力の礎をこの学び舎で学んだことと思います。その一つひとつの学び・体験が必ずどこかで生きてきます。それらフル活用しつつなご合わせ、新たな環境でも柔軟な発想を持っていろいろなことにチャレンジし、活き生きと輝きを放つ人財となることを心から願っています。



内村 友哉 先生 4年生 担任

卒業おめでとう。二人の成長を近くで見ることができ担任として本当に幸せでした。他にもない自分自身が決めた「看護師」という道に誇りと自信をもち、2年間の学習に励んでください。これからも応援しています。



岩尾 圭治 先生 4年生 副担任

卒業おめでとうございます。1年間、副担任ができて幸せでした。面接練習は成長過程を見られて大変楽しかったです。医療人として今後の成長を期待しています。



山本 康伸 先生 3年生 担任

卒業おめでとうございます。今年の卒業生は、生徒会執行部での元朝張り、一緒に叩いた人定太鼓、授業での熱心な取り組みなど強く印象に残っています。卒業後、社会での活躍と人生の幸せを心から祈ります。



加藤 郁子 先生 3年生 副担任

ご卒業おめでとうございます！2人とも“4年間皆勤”という、当たり前のように難しいことを成し遂げました。この事を糧に、卒業後も4年間の絆を大事にし、夢に向けさらなる勉学に励んでください。応援しています。



中神 奈子 先生 2年生 担任

卒業おめでとうございます。今後、准看護師を目指し学習に励んでいく中で、今以上に努力が必要になり、行き詰まることもあると思います。息抜きも大切に2年間頑張ってください！目指せ、定時制と准看護皆勤賞！！



丸山 和宏 先生 2年生 副担任

卒業おめでとう。思えば、入学以来4年の歳月がたちました。長いようであり、短いような月日でした。毎年、無遅刻・無欠席の印象であり、努力家の卒業生ですね。幸せであれ！



安藤 洋 先生 1年生 担任

4年間皆勤、素晴らしいですね。思い出は様々ですが、その一つ一つが今後あなたが羽ばたく土台になっています。目標に向い、横風や突風が吹いても力強く進んでほしいと思います。卒業おめでとうございます。



原田 幸代 先生 1年生 副担任

ご卒業おめでとうございます。看護師を夢見て、また新たな一歩を踏み出した二人。貴方たちには人定の19名の仲間や先生方が居ることを忘れず人定で培った“努力”で立ち止まることなく前に進んで行く勇気を持ち続けてください。応援しています。



椎葉 道子 先生 技師

ご卒業おめでとうございます。春の日差しのようにあたたかく、春風のように優しい人になってください。これからは、自分の信じる道を一直線に突き進み素晴らしい明日を育ててください。



平木 智美 先生 事務職員

卒業おめでとうございます。定時制での4年間でたくさん学び成長したことだと思います。これからも、感謝の気持ちを忘れず、身体には気をつけて元気にがんばってください。応援しています。



堀 沙耶佳 先生 養護助教諭

ご卒業おめでとうございます。1年間でしたが、2人とは、保健室以外でもたくさん関わって嬉しかったです。准看でもお互いに切磋琢磨してください。どんなときも心と体の健康を大切に。これからも応援しています。





# 卒業

# おめでとう

生徒会役員がいつもより早く  
登校して卒業生のために  
アルバムを作成しました。  
この後、後輩全員でメッセージ  
カードを記入しました。



## 家庭学習中も学びました



2月から家庭学習期間でしたが、登校日に進路講話と消費生活講座を通して社会に出るにあたっての心構えを身につけました。

**< 進路講話 >** ジョブカフェ・就労支援員の豊永康子様を講師に①高校生と社会人の違い②早期離職防止について(壁にぶつかったらどうする)③職場のコミュニケーションについて(チームワークが大切)等進学および就労に必要な知識、技術を実際に学び、社会人としてのマナーを身につけました。ずっとチャレンジ精神を持ち続けて欲しいです。

**< 消費生活講座 >** 金融広報アドバイザーの斉藤信子様を講師に『キャッシュレス社会の消費力』を演題に①契約とは②悪質商法とクーリングオフ③増加するネットトラブル④キャッシュレス社会等、若者を狙った悪質商法被害や契約・クレジット等の消費者トラブルの防止等についての知識を身につけました。



## 卒業生から 保護者へ



## 卒業生から 在校生へ



いろいろ世話をしてくれてありがとう。ここまで成長できたのは、あなたのおかげだと思う。一緒にいてくれて、僕に希望や夢をくれて、僕に笑顔をくれたことに心から気持ちを込めてありがとう。感謝の気持ちを忘れない。

4年

ジャイレック・クリッサター



高校生活は一度きり。精一杯楽しんでください。これから学校行事を盛り上げて時間を大切にしてください。体育に打ち込んだり、勉強をしたり、思いっきり楽しんで。卒業までは思っているより早いです。あっという間です。1日1日を大切に頑張ってください。

今まで色々迷惑をかけましたが、支えてくれてありがとうございました。これからもたくさん迷惑をかけますが、今後もよろしくお願いします。そして、看護学校を卒業したら今度は支えていきたいです。

4年

西朝華音



これから先、進路のことや学校生活で悩むところがあると思います。でも、高校生活4年間は長いようで短いので、1日1日大切に学校生活を送ってください。そして、高校生活3年間または4年間頑張ってください。



